

競技注意事項

1 競技規則

本競技会は2024年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会競技注意事項によって実施する。

2 練習について

- (1) 競技場内での練習については、原則バックストレートを使用し、役員(練習会場係)の指示に従い行うこと。
- (2) 雨天時のみ、サンドームせんだいを選手控え所およびウォーミングアップ場として開放する。ドーム内では室内用シューズを使用し、役員の指示に従うこと。
- (3) 逆走は禁止する。
- (4) トラックにミニハードル等、私物の道具を置くことは禁止する。
- (5) 練習等でトラックにテープ等を貼った場合、練習後には必ず回収すること。

3 招集について

- (1) 招集所は、本競技場スタート裏付近倉庫前で行う。
なお、投擲種目については、競技場所現地にて行う。
- (2) 招集時間は、開始・完了ともに、競技順序に記載された時刻で行う。
- (3) 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該種目を棄権したもものとして出場を認めない。
- (4) 招集の方法については、以下の通りとする。
 - ①招集開始時刻にスタート地点付近にて競技者本人が競技者係の点呼を受ける。その際、アスリートビブス・競技用シューズのスパイクビン・靴底の厚さ・ウェアや所持物の商標の点検を受ける。
 - ②出場者は腰ナンバーカードを受け取る。受け取った腰ナンバーカードは、競技終了後に返却すること。
 - ③携帯電話、ミュージックプレイヤー、および外部との通信機能のある腕時計等、競技規則TR6.3.2に関わる電子機器を持ち込んではいけない。
 - ④代理での点呼は認めない。
 - ⑤各種目を棄権する場合は、招集開始時刻前に競技者係へ申告すること。
- (5) TR4.4(参加の拒否)は適用しない。欠場については、エントリーした各種目について申告すること。

4 アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスは、2024年度鹿児島陸協登録時に配布され、申込時に入力したものをを使用すること。県外登録選手については、申込時に入力した番号が記載されたものをを使用する。ただしサイズは規定サイズとすること(TR5)。
- (2) 小学生については、競技会当日、受付にて配布する。
- (3) アスリートビブスを取り付ける安全ピンについては、各自で用意すること。

5 競技場の入退場について

- (1) 競技場への入場は、競技者係の指示に従うこと。
- (2) 競技終了後は、役員の指示に従い、場外へ退場する。(本部席前は通行禁止)
- (3) 競技者以外(付き添い等)は、競技場所へは立ち入る事ができない。

6 番組編成について

各種目ともプログラム記載の組・レーン順とする。

7 競技について

- (1) トラック競技について
 - ①トラック競技の計時は、すべて写真判定装置で行う。
 - ②レーンで行う競技は、欠場者のレーンを空ける。また安全対策の為、フィニッシュ後も自分に割り当てられたレーン(曲走路)を通過する。
 - ③不正スタートを行った競技者は失格とする。
 - ④スタート時、他の競技者の不正スタートを生じさせた場合や、動作等によりスタートのやり直しの原因を作った場合、またスタート時の動作等に遅延行為が見られる場合などはイエローカード提示され警告となる。警告が2回累積されると、退場となり以降の競技に出場ができなくなる。
- (2) フィールド競技について
 - ①フィールド競技の測定については、一部光波測定器を使用する。
 - ②競技前に行う公式練習は競技役員の指示によって行う。
 - ③「コーチングエリア」は設置しない。選手への助言等は競技進行に支障のない場所から行う事。競技者が直接手に取って映像等を確認することは認めるが、機器等の持ち込みや持ち出しは認めず、その場で確認すること。また機器は手渡しのみ認め、投げ渡し等は認めない。
- (3) リレー競技について
 - ①リレーオーダーは、各組の招集完了時刻1時間前までに、招集所に用意してある所定の用紙に記入し、招集所の競技者係に提出する。
 - ②リレーチームの編成メンバーは、本競技会のリレーまたは他の種目にエントリーしている競技者であれば出場することができる。ただし、出場するメンバーのうち少なくとも2人は当該リレー種目にエントリーした競技者でなければならない。
 - ③リレーチームのエントリーに関して、当競技会にエントリーしている選手に限り、当日のエントリーメンバーの変更を認める。複数チームエントリーしている場合も、当日、出場チームのメンバー変更を認める。エントリー変更を希望する際は、午前11時までに、記録室へ届け出ること。

- ④競技者は、大きさが最大50mm×400mmの恒久的なマーキングと混同しないようなはっきりした色の粘着テープをマーカーとして1カ所、自らのレーンに貼ることができる。それ以外のマーカーは使用できない。競技後は、前走者が自分のレーンに使用したマーカーを剥がすようにすること。
- ⑤リレーに出場するチームは原則同一デザインのユニフォームで出場すること。形状の違うものについては、カラー等デザインが酷似している場合は認めるものとする。ユニフォームが同一で無い場合も失格とはならないが、極力揃えておくこと。
- (4) 競技者は、携帯電話、ミュージックプレイヤー、および外部との通信機能のある腕時計等、競技規則TR6.3.2に関わる電子機器を所持・使用してはならない。また、競技場所を勝手に離れることはできない。
- (5) 競技規則または、競技注意事項に違反する行為がある場合、また競技者としてあるまじき行為がある場合は、警告(イエローカード)または除外(レッドカード)を通告されることがある。

8 競技用靴について

- (1) スパイクピンの長さは、9mm以内とする。ただし、やり投およびジャバリックスローは12mm以内とする。
- (2) 競技用靴の厚さについては、WAシューズ規定を適用する。(TR5) 小学生については、適用外とする。

9 抗議について

結果発表アナウンス後、結果に対する抗議は、競技規則(TR8.2)に定められた時間内(30分以内)に競技者自身、もしくはチームを公式に代表する指導者等から総務(総務員)を通じて、審判長に口頭になされなくてはならない。その後の審判長からの裁定に納得ができない場合は、預託金(1万円)を添えて、総務(総務員)を通じて Jury に「抗議申立書」で申し出る。「抗議申立書」は総務が準備する。

10 その他

- (1) 競技場の開門は7:30とする。係の指示に従い入場すること。
- (2) 大会プログラムは競技場正面入り口内にて販売する。
- (3) 記録の証明を希望する場合は、受付に申し出ること。1部200円で発行する。
- (4) 競技会の結果については、競技場内アナウンスおよび鹿児島陸協HPで公開する。
- (5) 競技場内に持ち込む衣類・バック等については広告規定を適用する。
- (6) 更衣室の利用については、更衣のみとし、控え場所としての使用は認めない。また貴重品等の管理については、各自で責任をもって行う事。
- (7) 事故発生については、応急処置を当協会医師・医務員が行うが、他の一切の責任は負わない。各自スポーツ安全保険に加入しておくこと。
- (8) 各自が出したゴミは必ず持ち帰ること。
- (9) 個人情報の取り扱いについて
- ①大会プログラムに掲載する。
 - ②記録掲示板、ホームページに掲載する。
 - ③競技場内アナウンスに使用する。
 - ④競技結果等、報道機関、関係各所に提供する。
 - ⑤各報道機関・メディアに写真や映像が公開されることがある。